

大田区版「地域共生社会の実現」へのイメージ ～包括的支援体制の構築に向けて～

資料1-2

本計画は、「複合課題に取り組む個別支援」と「支援と共生の地域づくり」の2つを取組みの柱とし、大田区版の「地域共生社会」の実現をめざします。

複合課題に取り組む個別支援

区は、区民一人ひとりの課題に応じたきめ細かい支援を実現するため、支援を必要とする人やその世帯が抱える複合的な課題を的確に把握し、既存の相談支援機関の機能を最大限活用しつつ、包括的支援を受けることができる連携体制を構築します。

支援と共生の地域づくり

地域で支えあいの意識が育まれ、区民主体の活動を発展させていくためには、区民、社会福祉を目的とする事業を営む事業者、社会福祉に関する活動を行う団体等がそれぞれの役割を果たしていくことが大切です。

支えあい

「お互いさま」の精神で！



例えば、電球の交換や、買い物への同行などが考えられます。

顔の見える関係をお隣同士からご近所、地域へと広げていくことで、小さな悩みでも気軽に相談しやすい環境を作っていきましょう。

気づき・見守り・つなぐ

日々の見守り活動の中で課題を抱える方に出会ったり、サービス提供を通じて自分では解決できない課題を見つけたら、身近な相談窓口につなぐことが大切です。

ほんの少し勇気を出そう！



地域づくり

あなたの一歩から始まる！

地域ごとに展開されている取組みを、地域を知る入口として活用しましょう。

ポールウォークやまち歩き、地図づくりなどを通じて、地域の強みや課題を共有することが、地域の未来と一緒に考えることにつながります。



社会貢献活動

地域密着で愛されよう！

民間企業や区内事業者、社会福祉法人には、本来業務によって蓄積されている知識や技能、資源を活用した公益的な活動が求められます。

例えば、所有する施設の無償提供や、イベントの共催、就労訓練の場の提供など、幅広い活躍が期待されます。

